

F1タンクエリアフランジ型タンク内包水移送について

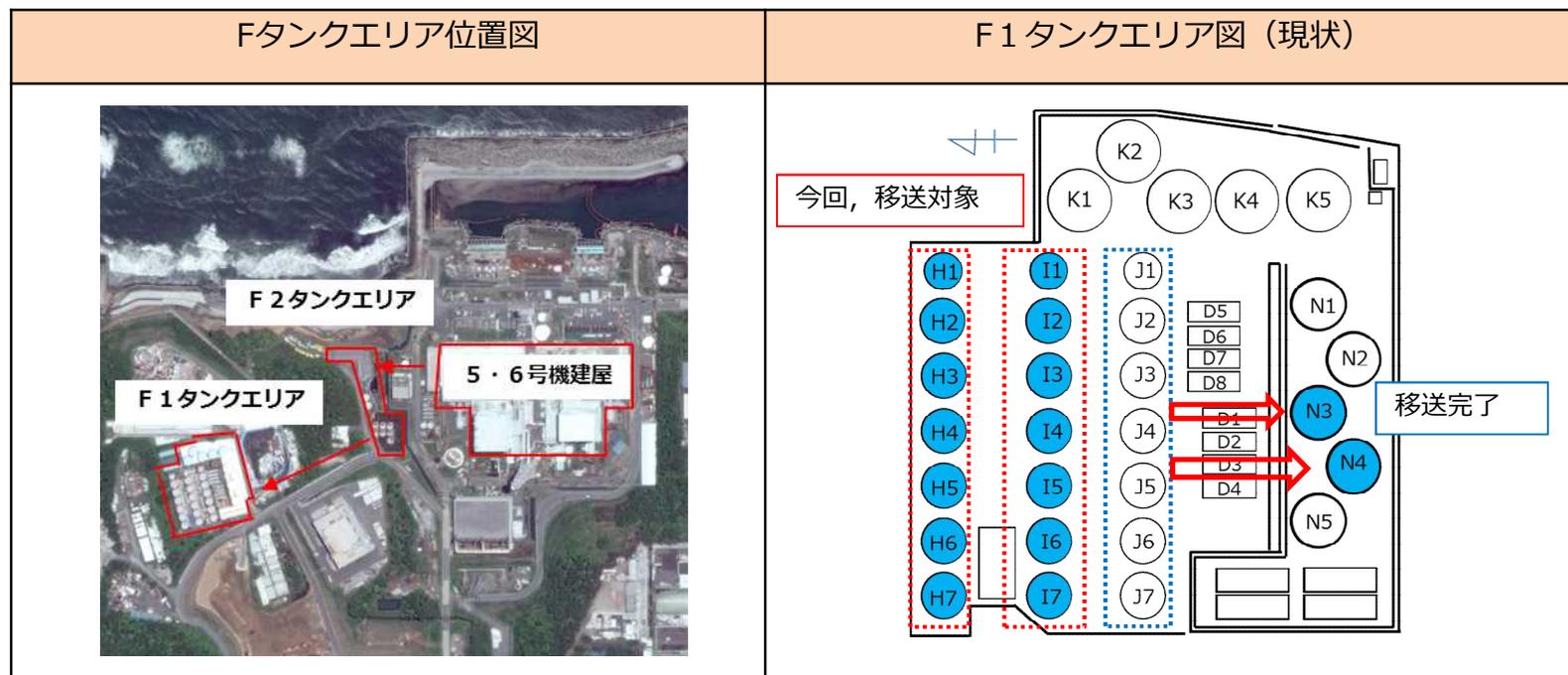
2022年 10月 27日

東京電力ホールディングス株式会社

TEPCO

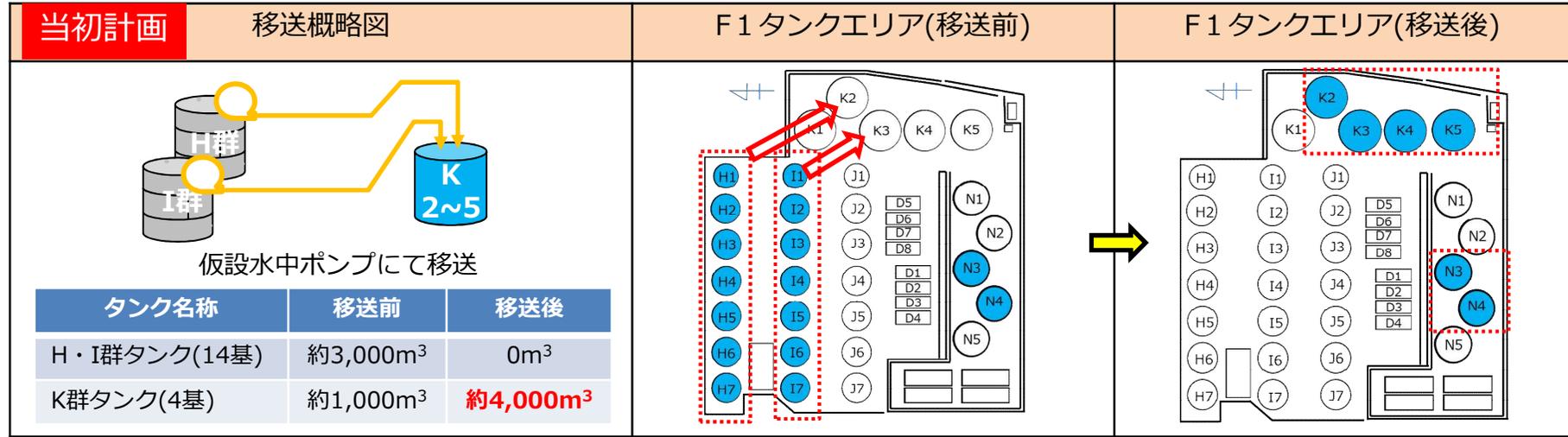
1. 概要

- F 1 タンクエリア（5・6号機滞留水貯留タンクエリア）のH・I・J群タンク(フランジ型)の運用を停止するため、2021年7月より淡水化装置（以下、ROという）によるタンク内包水の浄化処理を開始し、処理済水は構内散水、浄化処理時に発生するRO戻り水を2022年10月末までに溶接タンクへ移送し、保管することになっている。
- 2022年6月20日よりJ群タンクのRO戻り水の溶接タンクへの移送を行い、2022年7月8日に完了している。
- 2022年10月20日よりH・I群タンクのRO戻り水の溶接タンクへの移送を開始する。これにより、F 1 タンクエリアフランジ型タンク群(21基)のタンク内包水の移送は完了する予定。

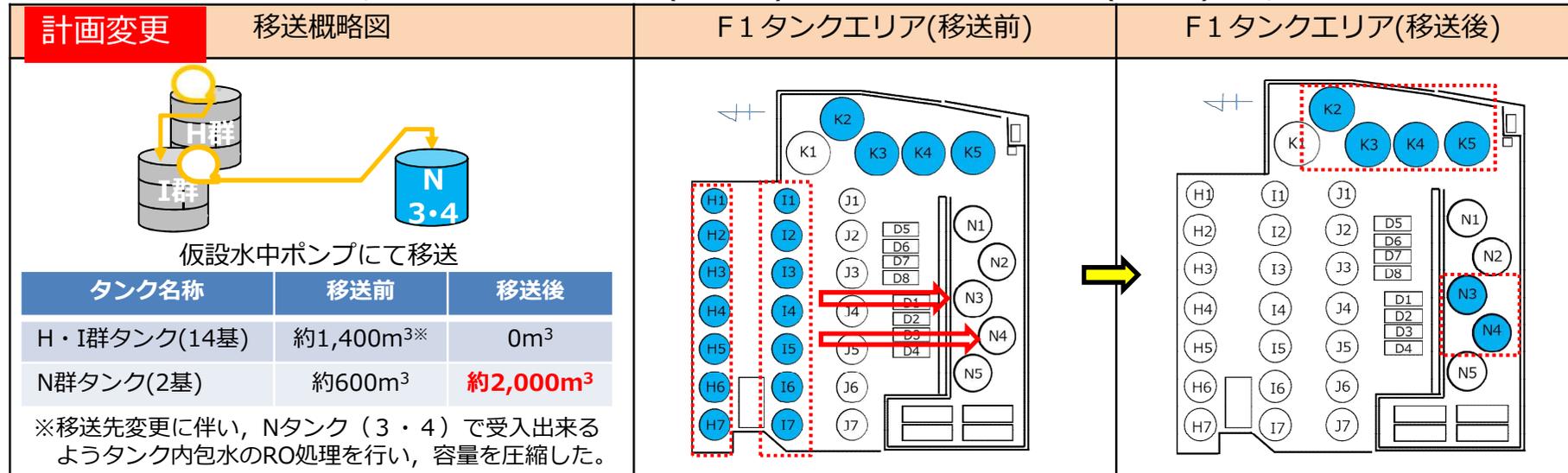


3. H・I群タンク内包水移送の移送先変更

- K群タンク(2~5) 約4,000m³ ⇒R O処理にて約3,000m³構内散水し, R O戻り水を約1,000m³保管 ⇒H・I群タンク約3,000m³をKタンク(2~5)へ移送 ⇒K群タンク(2~5)約4,000m³保管

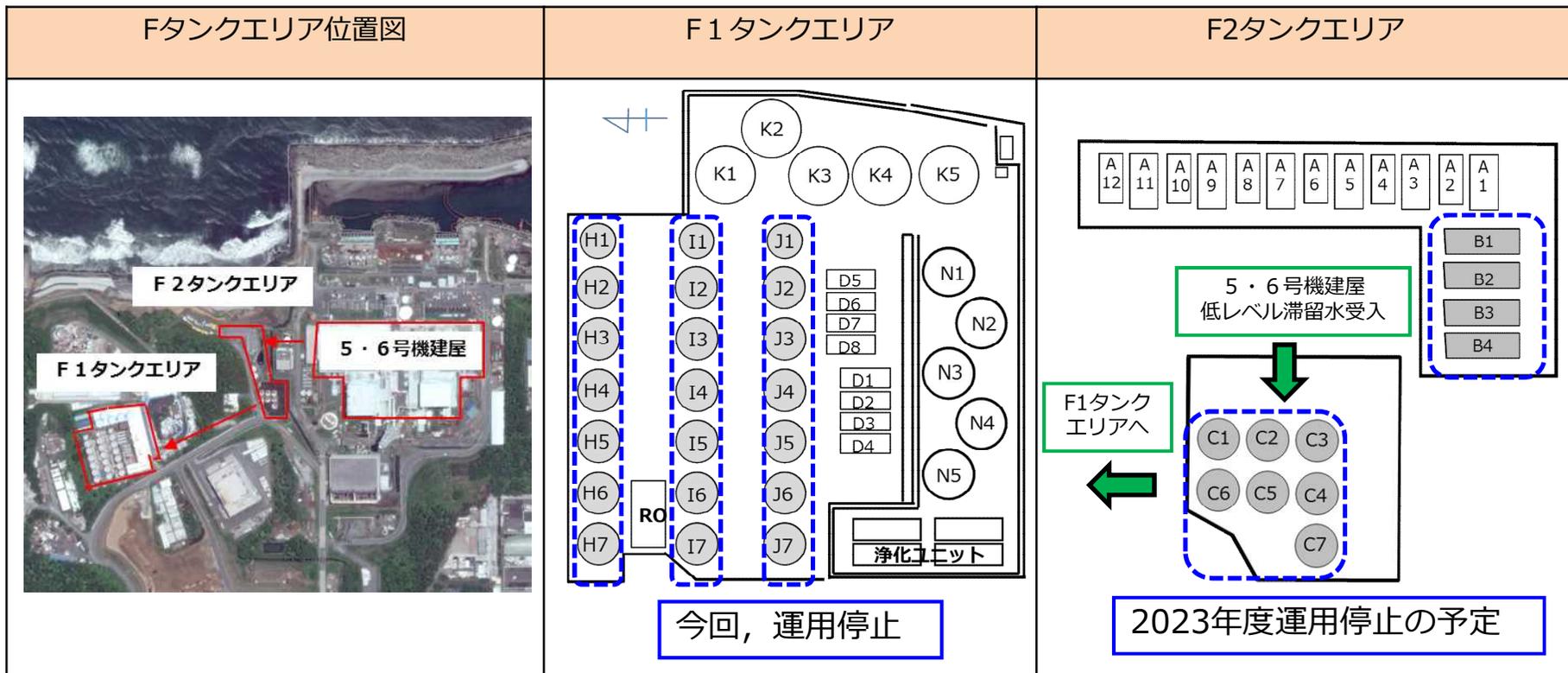


- H・I群タンク約3,000m³ ⇒R O処理にて約1,600m³構内散水し, R O戻り水を約1,400m³保管 ⇒H・I群タンク約1,400m³をN群タンク(3・4)へ移送 ⇒N群タンク(3・4)約2,000m³保管



<参考> 5・6号機Fタンクエリアフランジ型タンクの運用状況

	B群タンク	C群タンク	H・I・J群タンク
運用状況	運用停止中（タンク内包水あり）	運用中（タンク内包水あり） ・5・6号機建屋からF1タンクエリアへの 滞留水移送時の、揚程確保のための中間タンク。	運用停止
タンク内包水	低レベル滞留水(油分含む)	低レベル滞留水	
計画	油分除去を行い，低レベル滞留水を移送を行う。	滞留水移送配管改良後，低レベル滞留水の移送を行う。	



参考資料

廃炉・汚染水・処理水対策于一ム会合事務局会議（106回）公表資料

福島第一原子力発電所 5・6号機の現状について

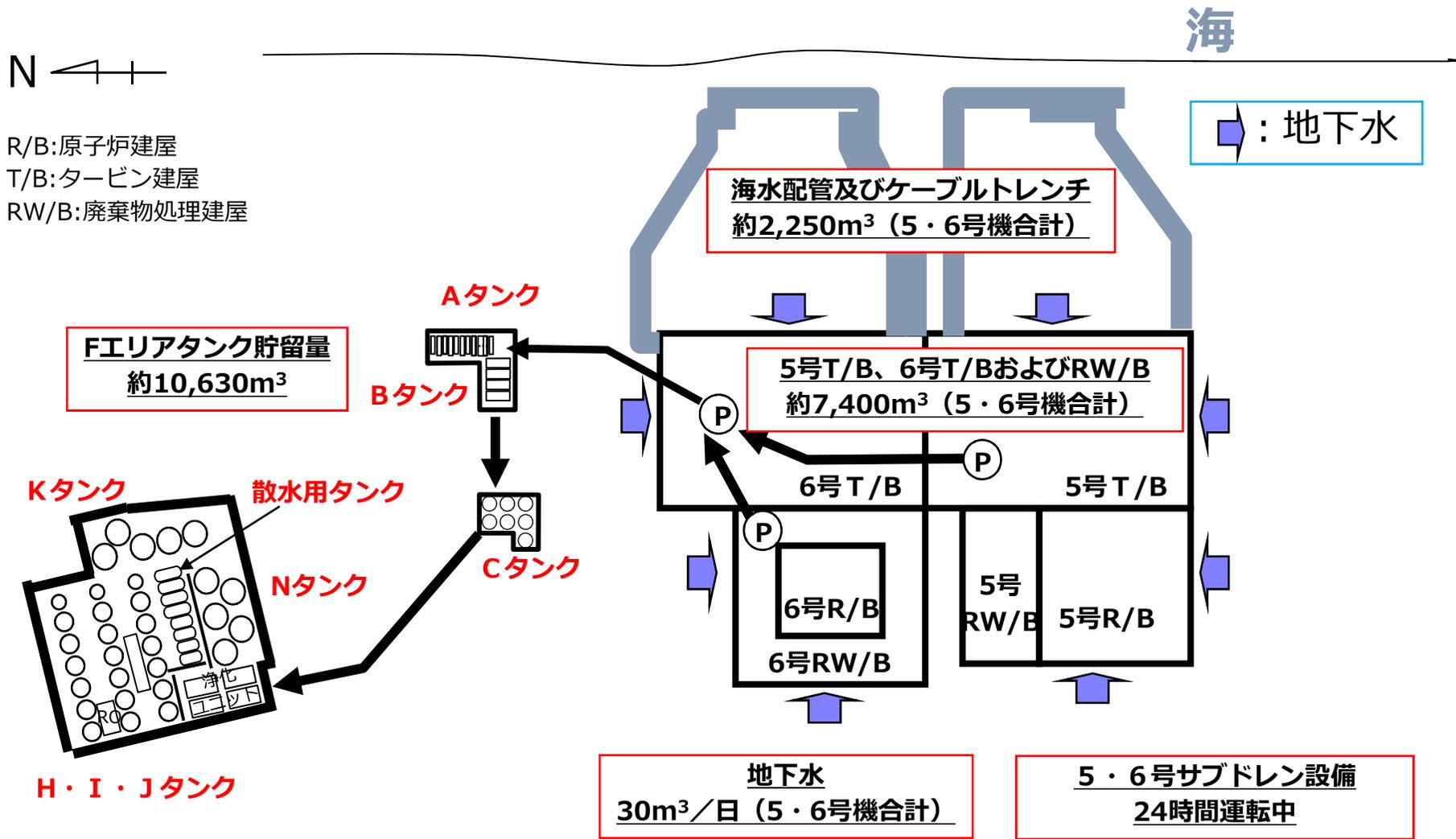
(5・6号機低レベル滞留水の状況)

2022年 9月 29日

東京電力ホールディングス株式会社

1. 5・6号機 低レベル滞留水量※1の状況

5・6号機 低レベル滞留水量の合計約20,280m³ (2022.9.21現在)

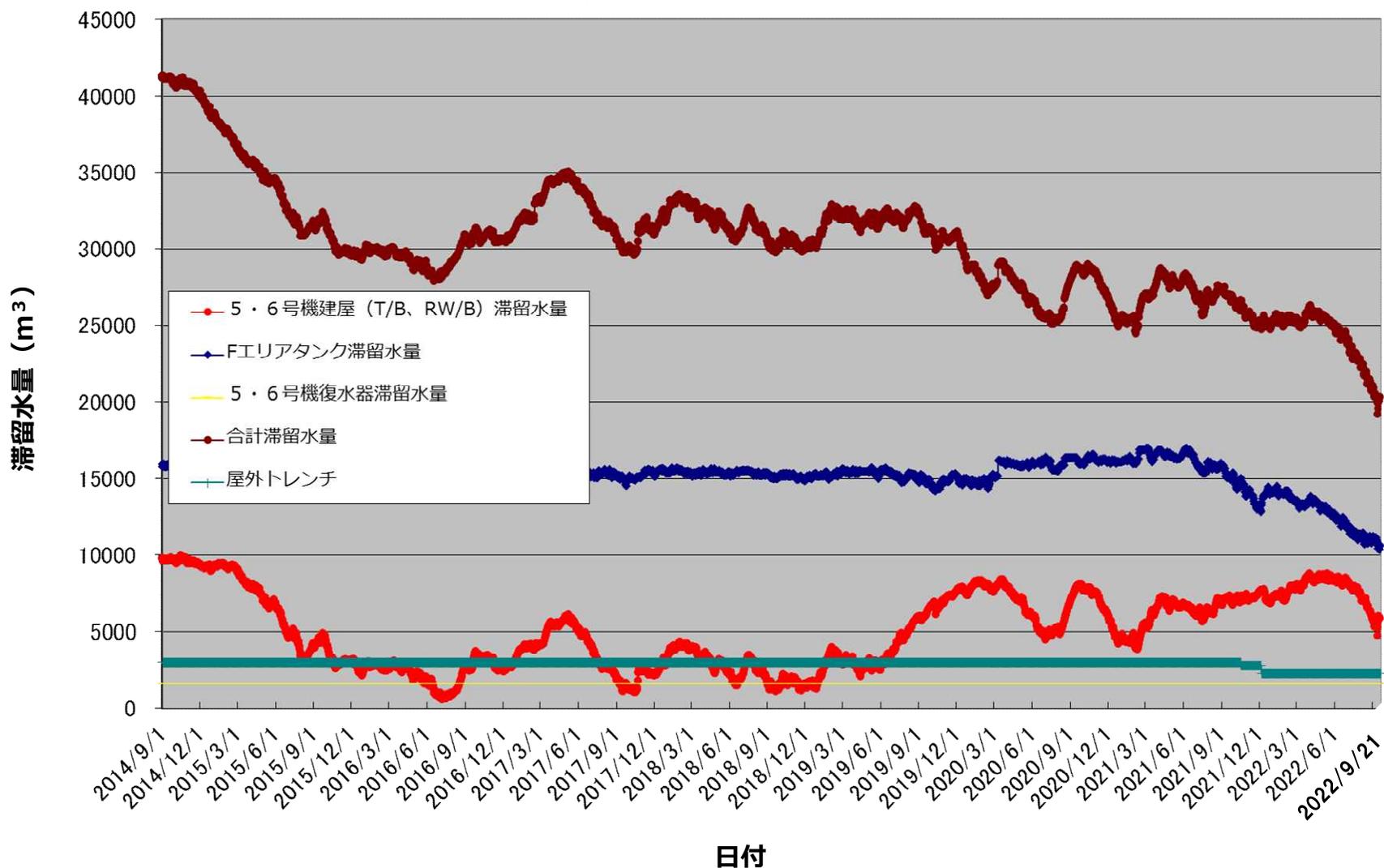


※1 : 5・6号機滞留水は、1-4号機滞留水と比べ放射能濃度が十分低いため、区別する目的で「低レベル滞留水」と記載する。

2. 5・6号機 低レベル滞留水量の推移

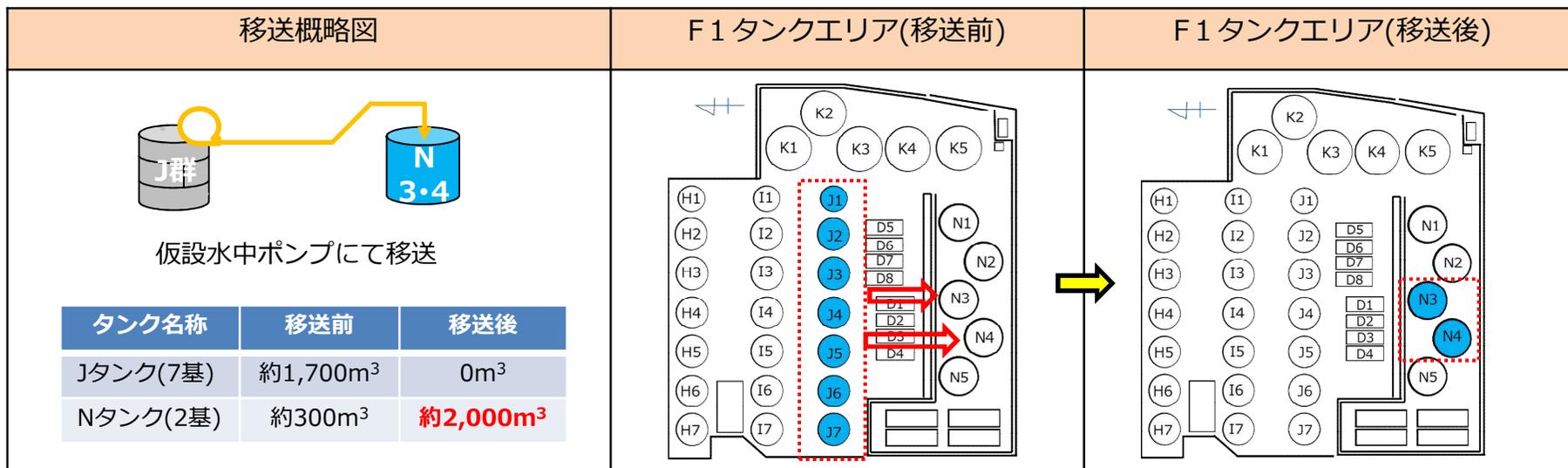
- 2014年9月から2022年9月までの5・6号機 低レベル滞留水量の推移は以下のとおり

5・6号機 低レベル滞留水量の推移

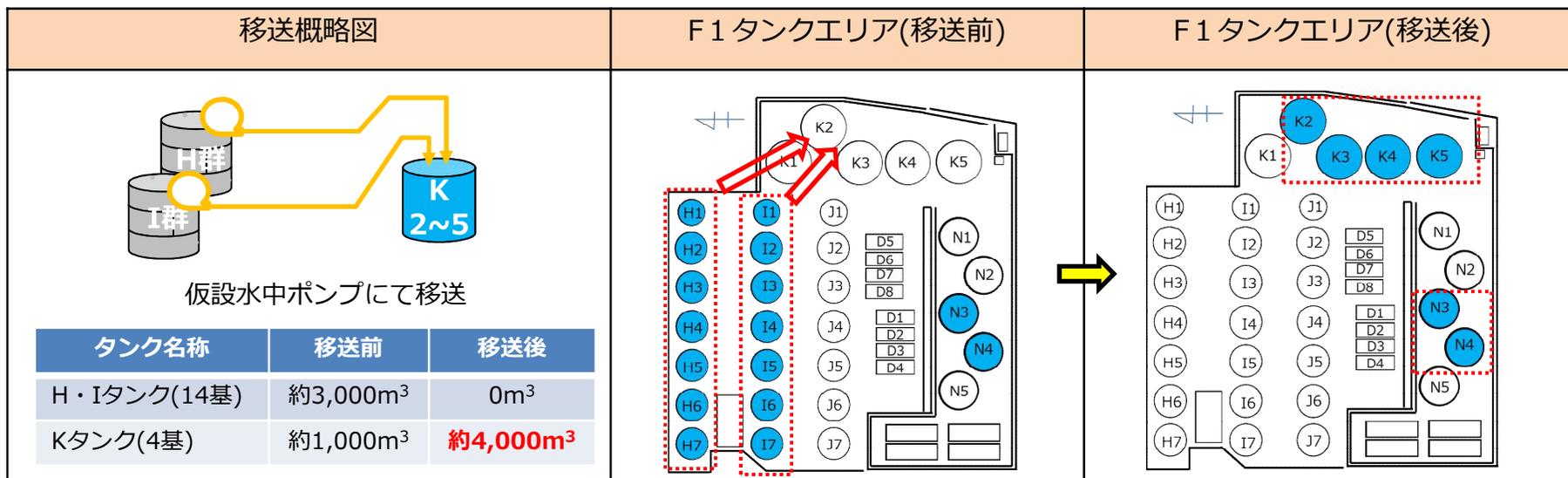


3. F1 タンクエリア群フランジ型タンク内包水移送について

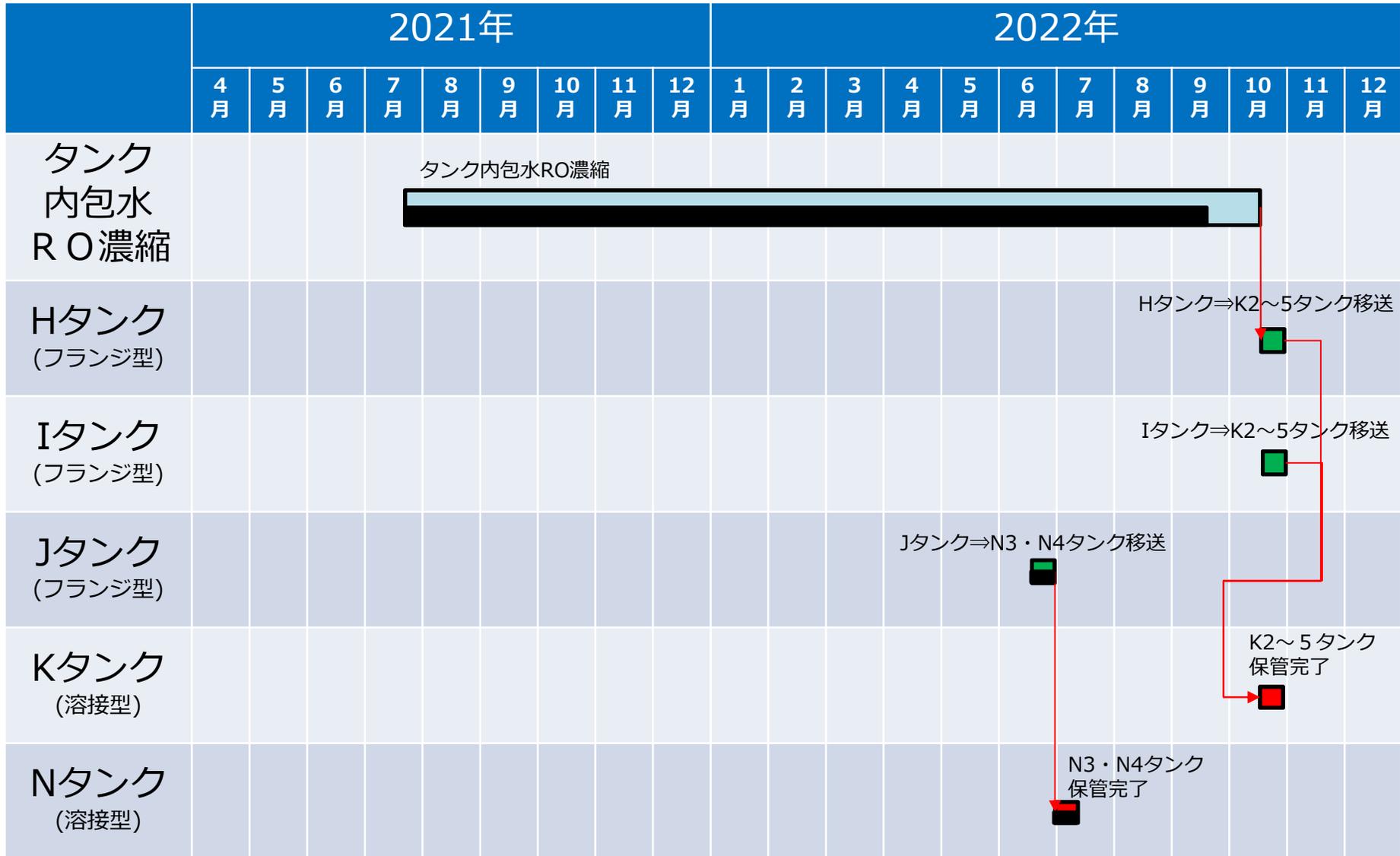
■ STEP1 N3,N4移送 (実施時期：2022年6月～7月) **完了**



■ STEP2 RO濃縮後工程を経て、K2～K5移送 (実施時期：2022年10月)



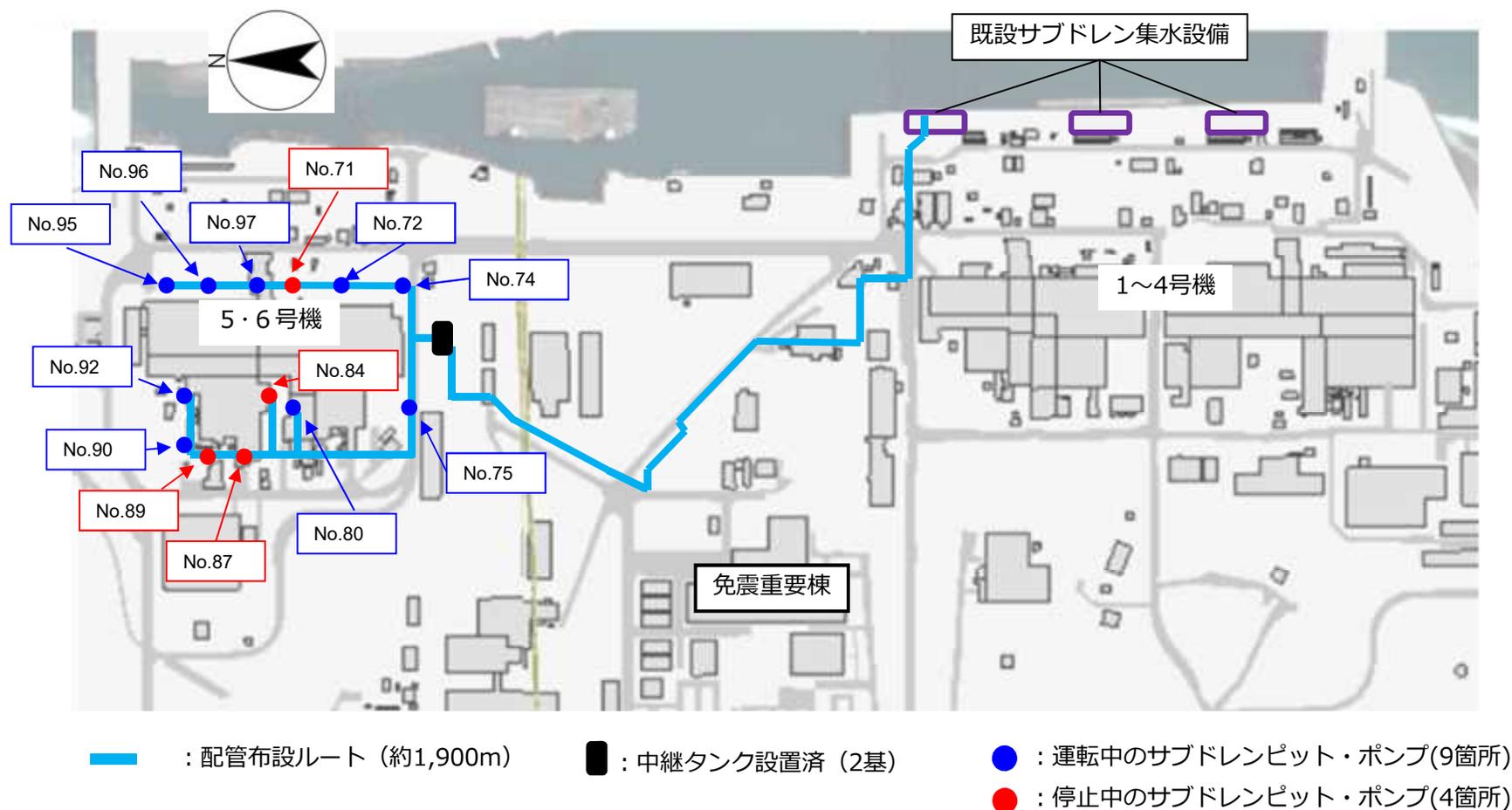
4. フランジ型タンク内包水移送スケジュール



■ : 実績線

<参考> 5・6号機 サブドレン集水設備の稼働状況（2022年9月21日現在）

- 5・6号機サブドレン設備は2022年3月28日より運用（移送）を開始し、現在は24時間運転中※2



※2：汲み上げ量の監視を行いながら、サブドレンピット・ポンプの運転計画を立てている。